

プログラミングスクールの**CodeCamp**、**Webデザインマスターコース**の  
修了生にブロックチェーン技術を用いたオープンバッジを発行  
-Webデザイナーとしての副業や就職・転職などのキャリア形成をサポート-

オンラインのプログラミングスクール「CodeCamp」を提供するコードキャンプ株式会社(本社:東京都品川区、代表取締役CEO:堀内 亮平)は、「Webデザインマスターコース(URL:  
[https://codecamp.jp/courses/master\\_design](https://codecamp.jp/courses/master_design))」の修了者を対象に、ブロックチェーン技術を用いたオープンバッジ(スキル証明)の発行を開始します。



### Webデザイナーとしてのスキルをブロックチェーン技術で証明

CodeCampの「Webデザインマスターコース」はWeb制作現場で必要とされるバナーデザイン・LP設計及びUIデザイン・コーディングスキルの習得を目的としたコースです。講座を修了した受講生は、CodeCampが定める「Webデザイナーとして就業・副業ができるスキル」の水準を満たすことを証明するオープンバッジを発行します。

[リンクを共有する](#)



**受講生**  
堀内 亮平

**発行日**  
2022年5月16日

検証する

**オープンバッジ**

## Webデザインマスターコース

発行者 [コードキャンブ株式会社](#)

プログラミング・WebデザインスクールのCodeCampが提供する「Webデザインマスターコース」を修了したことを証明します。

本コースはWeb制作現場で必要とされるバナー制作・LPデザイン・UI設計およびWebサイトコーディングスキルの習得を目的としたコースです。

本コース修了者は、Webデザイナーとして就業・副業するための一定の水準を満たしたことを証します。  
[https://codecamp.jp/courses/master\\_design](https://codecamp.jp/courses/master_design)

**バッジ取得条件**

▼修了の条件  
以下3つを条件とする

1. Photoshop, Illustratorの基本的操作とデザインの基本原則を習得し、レスポンスサイトのWebデザインを行えること
2. HTML/CSSを使って静的なWebサイトページを制作できること
3. 実案件を想定した複数の演習課題に対してオーダー通りにデザインキャンブを制作できること

※オープンバッジサンプル: <https://codecamp.jp/badges/30438f51ec221e2ed99c0abde4eec141>

また、発行したオープンバッジはブロックチェーン証明書の規格であるBlockcertsに準拠してブロックチェーン上に記録されるため、偽造・改ざんができない、信頼性の高い証明書として掲示することができます。

堀内 亮平

**認証されました**  
この証明書は有効なBitcoin証明書です。  
[Verify again](#)

**ISSUE DATE**  
May 16, 2022

**ISSUER**  
コードキャンブ株式会社

**ISSUER'S PUBLIC KEY**  
1EZP4xREK88WFMQRXP4VCtduLNrv5T3qcV

**TRANSACTION ID:**  
76b82f667e230f9728baf153aa9f371113630c9df6a64be5fe6bd4f836a7c78b

No metadata specified for this record.

Download Record in JSON format

Share on LinkedIn

Share on Facebook

Share on Twitter

CodeCamp
Webデザインマスターコース
✕

**堀内 亮平**

Issued on May 16, 2022 by コードキャンブ株式会社

- ✓ フォーマットの検証  
5 Items
- ✓ ハッシュの照合  
3 Items
- ✓ ステータスの確認  
3 Items
- ✓ **認証されました**  
この証明書は有効なBitcoin証明書です。  
[取引を確認する](#)

BLOCKCERTS

※Blockcertsによるバッジ検証機能イメージ

## 〈Webデザインマスターコース オープンバッジ取得条件〉

### ■修了条件(以下3つを条件とする)

1. Photoshop、Illustratorの基本的操作とデザインの基本原則を習得し、レスポンシブサイトのWebデザインを行えること
2. HTML/CSSを使って静的なWebサイトページを制作できること
3. 実案件を想定した複数の演習課題に対してオーダー通りにデザインカンプを制作できること

### ■採点基準

- Photoshop、Illustratorの基本的なオペレーションを理解しているか
- 汎用サイズのパナーデザインを行えるか
- レスポンシブデザインを考慮したデザインカンプ作成を行えるか
- デザインの4大原則に従ったセカンドページのデザインカンプ作成を行えるか
- レスポンシブデザインを考慮し、ワイヤーフレームに沿ったデザインカンプ作成を行えるか
- 要件を踏まえたランディングページのワイヤーフレーム作成を行えるか
- ワイヤーフレームを元にランディングページのデザインカンプ作成を行えるか
- HTML/CSSを記述し、要件を満たしたコーディング・Webサイト作成が行えるか
- 依頼主の視点を踏まえたポートフォリオデザイン(PDF版)を作成できるか
- アートディレクション講師の下、クラウドソーシングあるいは個人で受注した案件を完成できる水準か

## Web3.0時代のスキル証明:オープンバッジとは

オープンバッジは学位や資格取得などの知識・スキル・経験の証明として、国際標準規格(IMS Global Learning Consortium)に則って発行されるデジタル証明です。このオープンバッジにはSVG・PNGの画像データにJSON-LD形式でスキル証明に関するメタデータが記録されます。メタデータには主に発行者・取得者・スキルの3つが含まれます。

## オープンバッジに記載されるもの

オープンバッジはSVG・PNGの画像データにJSON-LD形式でスキル証明に関するメタデータが記録されます。メタデータには主に発行者・取得者・スキルの3つが含まれます。



### 発行者に関する情報

発行者名・発行日・発行者概要・発行者のEmailアドレス・URLなど



### 取得者に関する情報

氏名・取得者の識別子



### スキルに関する情報

バッジの名称・概要・取得に必要な要件・スキルを示すタグ情報など



オープンバッジに記載される内容例

※ブロックチェーンのネットワーク上には、上記を含んだHash値が保存されるため、個人を特定するデータが書き込まれることはありません。

※オープンバッジに記録される情報イメージ

保持する情報が統一されているため、他の団体が発行するバッジとも比較することが容易であり、個人のスキルや経験を可視化することができます。バッジの保有者はメールの署名、履歴書、職務経歴書に画像を添付したり、リンクを記載することでスキルをアピールすることができます。他にもSNSのプロフィールに設定したり、シェアすることが可能です。

### ■CodeCampが発行するオープンバッジについて

[https://codecamp.jp/about\\_badge](https://codecamp.jp/about_badge)

### ■オープンバッジを用いたIT/DX人材のスキル見える化プラットフォーム構想について

コードキャンプ代表 堀内のnoteも併せてご覧ください。

<https://note.com/horiday018/n/nbe6dca0f3d75>

## ーコードキャンプ株式会社についてー

2013年に日本初、オンライン・マンツーマンで学べるプログラミングスクール「CodeCamp」を開校。プログラミング・Webデザイン・IT教育を中心に「人と社会の成長を加速させる」ための教育事業を展開しています。

【CodeCamp】完全オンラインのプログラミング個人レッスン

【CodeCampGATE】転職・就職を目指す人の支援プログラム

【CodeCampNEXT】若手エンジニアのためのスキルアッププログラム

【CodeCamp研修】300社が選ぶプログラミング/IT研修

【CodeCampKIDS】小学生・中学生のためのプログラミング教室

【CodeCampus】テクノロジーの「学ぶ・働く」を知るメディア

<会社概要>

会社名:コードキャンプ株式会社

代表取締役 CEO:堀内 亮平

本社:東京都品川区大崎2-1-1 ThinkPark Tower 9F

URL:<https://codecamp.jp/>